

会議の目的及び進め方 ①会議の目的

設置目的

- ① 雇用の創出・安定に向けた新規施策等の検討
- ② ひょうご経済・雇用戦略推進会議の分科会として、社会経済情勢や現場の課題に即した施策に結びつく、踏み込んだ議論を行う

人手不足問題対策会議 構成員名簿

(敬称略・五十音順)

氏名	団体・役職等
荒木 秀之	りそな総合研究所主席研究員
伊藤 敦	株式会社水登社総務室長
田箆 真司	株式会社朝日工業代表取締役
西村 総一郎	株式会社西村屋代表取締役社長
服部 博明	株式会社みなと銀行取締役会長
福永 明	日本労働組合総連合会兵庫県連合会会長
本丸 勝也	兵庫ベンダ工業株式会社取締役事業本部長
巴波 弘佳	関西学院大学副学長・情報化推進機構長
横山 由紀子	兵庫県立大学国際商経学部教授

構成員 (9人)

会議の位置づけ

ひょうご経済・雇用戦略推進会議

- 戦略の効果的な推進、評価・検証、新たな施策の検討、戦略の充実等が目的
- 会議での議論の内容は、今後の政策形成の参考（機関意思のとりまとめなし）
- 推進会議の設置期間：1年

経済分科会

- 推進会議で挙げた経済・産業分野の課題について詳しく掘り下げ
- 全2回の議論を踏まえ、推進会議に結果を還元
- 構成員は推進会議構成員を中心に選定

雇用分科会（人手不足問題対策会議）

- 現場ヒアリング、推進会議で挙げた雇用分野の課題について詳しく掘り下げ
- 全4回の議論を踏まえ、推進会議に結果を還元
- 構成員は推進会議構成員に加え、特徴的な取組を行っている企業経営者等を新たに選定

ひょうご経済・雇用戦略

- **計画期間** 2023 (R5) ~ 2027 (R9) 年度
- **戦略の趣旨**
産業・雇用分野での県政運営の基本的考え方及び施策の方向を示し、産学官民が協働して推進を図っていくための共有シナリオ
- **戦略の推進体制**
学識者、産業・雇用団体代表者、企業人等からの課題提起と施策検討の場として、ひょうご経済・雇用戦略推進会議を開催

会議の目的及び進め方 ②会議の進め方

議論の対象

➤ 議論の対象を、まずは**製造業・観光産業**とする

- **製造業**：本県GDPの約3割、雇用の約2割を支える本県経済の屋台骨
- **観光産業**：2025大阪・関西万博、ワールドマスターズゲームズ関西の開催、神戸空港の国際化を控え、国内のみならず世界各地から多数の訪客が見込まれる

→ 上記以外の職種についても、議論をふまえながら今後対応を検討

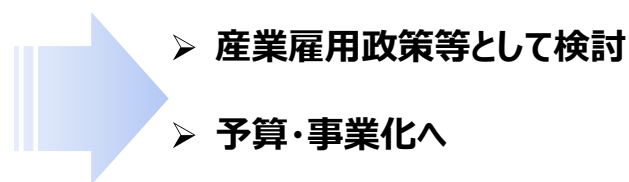
➤ 主なテーマを、以下のとおりとする

- ①学卒者(高卒、大卒)雇用、②外国人雇用、③DX・リスキリング、④観光産業の雇用、⑤多様な人材の確保

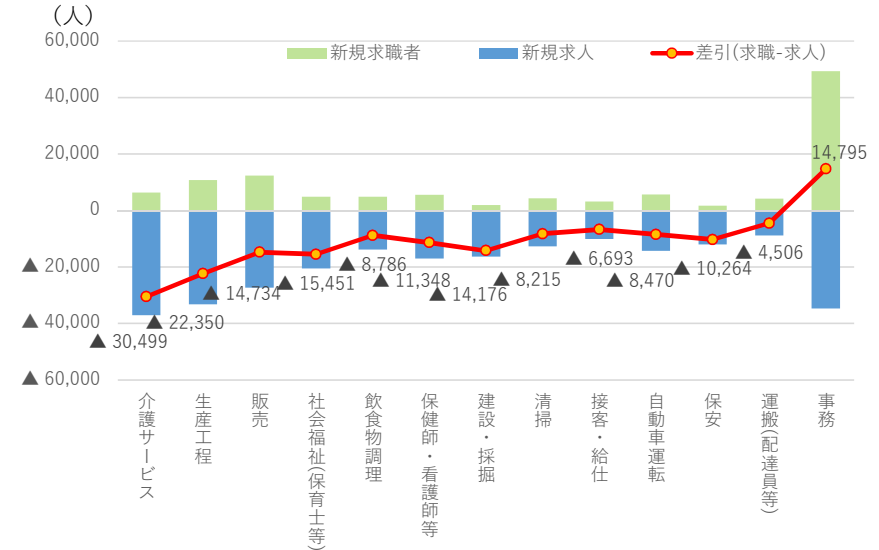
→ 企業ヒアリングや推進会議で、課題として多く上がった項目等

スケジュール

	7月	8月	10月	12月
会議	第1回	第2回	第3回(個別ヒア)	第4回
内容テーマ	課題整理と方向性① ● 学卒者雇用 ● 外国人雇用	課題整理と方向性② ● 観光産業の雇用 ● 多様な人材の確保	施策検討	議論総括 施策案整理



【職業別新規求人数、新規求職数(兵庫県、R4年)】



(出典) 兵庫労働局「労働市場月報ひょうご2022年度」

➤ 「第1回推進会議意見」および「現地ヒアリングを踏まえた課題と施策案」について、県での事業化を念頭に、課題と取組の方向性を深掘りする